

3 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要

○2009/10年度のなたね需給（予測）のポイント

なたねの供給面では、中国等で作付け意欲が増加するものの、カナダ、ウクライナで収穫面積が減少することから、世界の生産量は減少が見込まれている。

需要面では、バイオディーゼル需要の拡大に伴い、中国、EU、カナダ等で搾油用需要を中心に世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、消費量が生産量を上回ることから在庫が取り崩され、期末在庫率も低下し、需給は再び引き締まると見込まれている。

【生産量】

生産量は、中国等で増加するものの、カナダとウクライナで減少することから、世界全体では前年度より2.0百万トン減少（▲3.6%）し、55.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン下方修正されており、国別にはEU等の単収の低下で下方修正され、中国で上方修正された。

【消費量】

消費量は、バイオディーゼル需要の増加に伴う油糧種子全般での需要増大により、中国、EU、カナダ等で搾油用を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より2.6百万トン増加（4.9%）し、57.2百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン下方修正されており、EUで下方修正され、中国で上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より0.9百万トン減少（▲8.1%）し、10.2百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではオーストラリアの輸出量の増加が見込まれているが、主要輸出国であるカナダとウクライナで減少することから、輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、アラブ首長国連邦で増加するものの、中国で国内生産が増加することや、EUでウクライナの輸出量の減少により、輸入量の減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体でわずかに下方修正されており、国別にはウクライナの輸出で下方修正され、EUの輸入で上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、消費量が生産量を上回ることから、カナダ等で取り崩され、世界全体では前年度より1.9百万トン減少（▲29.6%）し、4.6百万トンとなり、期末在庫率も8.0%まで低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正されており、中国等で上方修正され、EU等で下方修正された。

表－1 世界のなたね需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	48.3	57.5	55.5	▲ 0.5	▲ 3.6
EU-27	18.4	19.0	18.5	▲ 0.6	▲ 2.7
中国	10.6	11.8	13.2	0.2	11.9
カナダ	9.5	12.6	10.3	-	▲ 18.3
インド	5.5	7.0	7.1	-	1.4
ウクライナ	1.1	2.9	2.1	▲ 0.1	▲ 27.6
オーストラリア	1.1	1.6	1.7	-	9.0
ロシア	0.6	0.7	0.7	-	0.0
消費量	48.9	54.6	57.2	▲ 0.2	4.9
うち搾油用	46.5	51.8	54.4	▲ 0.2	4.8
EU-27	19.1	21.1	21.4	▲ 0.2	1.3
中国	11.4	13.3	14.1	0.1	5.7
インド	5.9	6.6	7.1	-	6.3
カナダ	4.3	4.7	5.4	-	13.3
日本	2.3	2.2	2.2	-	▲ 0.9
メキシコ	1.3	1.4	1.4	-	2.2
米国	1.1	1.3	1.3	-	▲ 1.6
貿易量	8.2	11.1	10.2	▲ 0.0	▲ 8.1
(輸出)					
カナダ	5.8	6.9	6.5	-	▲ 5.1
ウクライナ	0.9	2.6	1.8	▲ 0.1	▲ 30.3
オーストラリア	0.5	0.9	1.1	-	16.0
米国	0.4	0.2	0.2	-	11.1
EU-27	0.4	0.1	0.1	-	0.0
ロシア	0.1	0.1	0.1	-	33.3
カザフスタン	0.1	0.1	0.1	-	▲ 22.4
(輸入)					
EU-27	0.7	3.1	2.4	0.1	▲ 24.2
日本	2.3	2.2	2.2	-	2.3
メキシコ	1.3	1.4	1.4	-	1.5
中国	0.8	2.2	1.0	-	▲ 56.8
アラブ首長国連邦	0.5	0.7	1.0	-	46.2
米国	0.9	0.9	0.9	-	1.7
パキスタン	0.5	0.4	0.6	-	80.0
期末在庫量	3.4	6.5	4.6	0.1	▲ 29.6
EU-27	1.0	1.9	1.2	▲ 0.1	▲ 34.3
カナダ	1.4	2.5	1.1	0.0	▲ 55.3
中国	0.0	0.7	0.8	0.2	12.9
インド	0.1	0.5	0.5	-	11.3
オーストラリア	0.3	0.3	0.2	-	▲ 9.7
米国	0.2	0.2	0.2	-	▲ 9.3
ロシア	0.1	0.2	0.2	▲ 0.0	▲ 6.6
期末在庫率	6.9%	12.0%	8.0%	0.2	▲ 3.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS&D」

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、他の作物への作付け転換による収穫面積の減少や、単収の減少により、前年度より2.3百万トン減少（▲18.3%）し、10.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、新規工場の操業開始により搾油能力が拡大することで搾油用を中心に、前年度より0.7百万トン増加（13.3%）し、5.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少や消費量の増加で供給が減少することや、中国の輸入の減少、オーストラリアとの競合で、前年度より0.4百万トン減少（▲5.1%）し、6.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.4百万トン減少（▲55.3%）し、1.1百万トンとなり、期末在庫率も9.5%（12.3ポイント減）と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の消費量がわずかに下方修正されたことから、2009/10年度の期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダのなたねは、5月にマニトバ州でレッド川の洪水の影響で作付けに遅れが生じたり、6月の第2週にカナダのアルバータ州や東部のサスカチュワン州で霜の被害を受け発芽を阻害し、再作付けが行われたほ場もある。今後の天候に注視が必要。

イ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、収穫面積、単収ともに増加することから、前年度より0.1百万トン増加（9.0%）し、1.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度並みの0.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、主要輸出国であるカナダやウクライナが生産量の減少により輸出量が減少することから、前年度より0.2百万トン増加（16.0%）し、1.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.1百万トン減少（▲9.7%）し、0.2百万トンとなり期末在庫率も13.4%（2.9ポイント減）と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのなたねは、生育期においてウエスタンオーストラリア州の一部地域を除いて降雨があった。

我が国の輸入先国シェア 1位（2008年数量ベース95.5%）
世界の生産量シェア 3位（2009/10年度18.6%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度63.5%）

表-2 カナダのなたね需給（市場年度：8月～翌年7月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.5	12.6	10.3 (10.2)	-	▲18.3
消費量	4.3	4.7	5.4 (5.9)	-	13.3
うち搾油用	4.1	4.3	4.9 (…)	-	15.3
輸出量	5.8	6.9	6.5 (6.5)	-	▲5.1
輸入量	0.2	0.1	0.2 (0.2)	-	50.0
期末在庫量	1.4	2.5	1.1 (0.6)	0.0	▲55.3
期末在庫率	13.8%	21.9%	9.5% (4.9%)	0.4	▲12.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.23	6.49	6.00 (5.98)	-	▲7.6
単収(t/ha)	1.53	1.94	1.72 (1.70)	-	▲11.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
AAFC「Grains and Oilseeds (April 30, 2009)」

我が国の輸入先国シェア 2位（2008年数量ベース 4.5%）
世界の生産量シェア 6位（2009/10年度 3.1%）
輸出量シェア 3位（2009/10年度 10.3%）

表-3 オーストラリアのなたね需給（市場年度：12月～翌年11月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	1.1	1.6	1.7 (1.7)	-	9.0
消費量	0.6	0.7	0.7 (0.6)	-	1.5
うち搾油用	0.6	0.6	0.7 (0.6)	-	1.6
輸出量	0.5	0.9	1.1 (1.1)	-	16.0
輸入量	…	…	… (…)	…	…
期末在庫量	0.3	0.3	0.2 (…)	-	▲9.7
期末在庫率	25.3%	16.4%	13.4% (…)	-	▲2.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)※	1.06	1.20	1.25 (1.2)	-	4.2
単収(t/ha)	1.00	1.30	1.36 (1.4)	-	4.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
ABARE「Australian crop report (16 June 2009)」 (※ABAREは作付面積)

ウ EU-27

【需給状況】

EUの生産量は、穀物価格の低下傾向により、小麦からなたねへの転換が促進されるものの、単収が前年度の高い水準から平年並みに戻ることから、前年度より0.5百万トン減少（▲2.7%）し、18.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、EUではなたねは主要な油糧種子であり、バイオディーゼル需要の増加などから搾油需要が増加し前年度より0.3百万トン増加（1.3%）し、21.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並みの0.1百万トンとなり、輸入量は主な輸入先のウクライナの輸出量の減少で、前年度より0.7百万トン減少（▲24.2%）し、2.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.7百万トン減少（▲34.3%）し、1.2百万トンとなり、期末在庫率は5.7%（3.1ポイント減）と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の消費量が0.1百万トン上方修正され、輸入量が0.3百万トン上方修正されたので、期末在庫量が0.2百万トン上方修正された。また、2009/10年度は生産量が0.6百万トン、消費量が0.2百万トンそれぞれ下方修正され、輸入量が0.1百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.1百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

EUでは5月末までにはほぼ全域で開花期が終わった。東部の生産地域（ルーマニア、ハンガリー）では生育初期の4月から5月の干ばつにより、単収の低下が懸念される。現在、東部では依然として干ばつが続いていることから、今後の天候に注視が必要。

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、2008年に中国政府が農家収入を保障するために、市場価格より高く買い上げる政策を行ったことにより作付意欲が高まり、前年度より1.4百万トン増加（11.9%）し、13.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要を中心に前年度より0.8百万トン増加（5.7%）し、14.1百万トンとなる見込みである。

輸入量は、国内生産の増加で減少し、前年度より1.2百万トン減少（▲56.8%）し、1.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は0.1百万トン増加（12.9%）し、0.8百万トンとなり、期末在庫率は5.6%（0.4ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の消費量が0.1百万トン、輸入量が0.1百万トンそれぞれ上方修正され、期末在庫量がわずかに上方修正された。また、2009/10年度は生産量が0.2百万トン、消費量が0.1百万トンそれぞれ上方修正された。この結果、期末在庫量が0.2百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国のなたねは、6月初旬に概ね収穫を終えた。

（世界の生産量シェア 1位（2009/10年度 33.3%）
輸入量シェア 1位（2009/10年度 23.0%））

表-4 EU-27のなたね需給（市場年度：7月～翌年6月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	18.4	19.0	18.5 (18.4)	▲ 0.6	▲ 2.7
消費量	19.1	21.1	21.4 (21.2)	▲ 0.2	1.3
うち搾油用	18.3	20.2	20.5 (20.3)	▲ 0.3	1.3
輸 出 量	0.4	0.1	0.1 (0.1)	-	0.0
輸 入 量	0.7	3.1	2.4 (2.2)	0.1	▲ 24.2
期末在庫量	1.0	1.9	1.2 (1.2)	▲ 0.1	▲ 34.3
期末在庫率	4.9%	8.7%	5.7% (5.6%)	▲ 0.4	▲ 3.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.55	6.28	6.54 (6.2)	▲ 0.06	4.2
単収(t/ha)	2.80	3.03	2.83 (3.0)	▲ 0.07	▲ 6.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (June 12, 2009)」

（世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 23.8%）
輸入量シェア 4位（2009/10年度 9.3%））

表-5 中国のなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	10.6	11.8	13.2 (12.4)	0.2	11.9
消費量	11.4	13.3	14.1 (…)	0.1	5.7
うち搾油用	10.9	12.8	13.5 (…)	0.1	5.5
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸 入 量	0.8	2.2	1.0 (…)	-	▲ 56.8
期末在庫量	0.0	0.7	0.8 (…)	0.2	12.9
期末在庫率	…	5.3%	5.6% (…)	1.0	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.64	6.50	7.00 (7.10)	-	7.7
単収(t/ha)	1.87	1.82	1.89 (1.75)	0.0	3.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (June 12, 2009)」

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が減少するものの収穫面積が増加する見込みであり、前年度より0.1百万トン増加（1.4%）し、7.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用を中心に前年度より0.5百万トン増加（6.3%）し、7.1百万トンとなる見込みである。

輸出货量、輸入量とも貿易の実績はほとんどない。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.5百万トンとなり、期末在庫率は7.5%（0.3ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

インドのなたねは、例年9月ごろに作付けが開始される。

（世界の生産量シェア 4位（2009/10年度 12.8%））

表－6 インドのなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

（単位：百万トン）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	5.5	7.0	7.1 (6.3)	-	1.4
消 費 量	5.9	6.6	7.1 (…)	-	6.3
うち搾油用	5.2	6.0	6.3 (…)	-	5.9
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	25.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	0.0
期末在庫量	0.1	0.5	0.5 (…)	-	11.3
期末在庫率	1.7%	7.2%	7.5% (…)	-	0.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.70	6.60	7.00 (6.4)	-	6.1
単収(t/ha)	0.96	1.06	1.01 (1.0)	-	▲ 4.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (June 12, 2009)」